

普及活動情勢報告（令和7年5月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

白ネギの最適品種検討に取り組む ～白ネギ研究会現地巡回～



ほ場巡回の様子

5月13日、生産者4人と営農指導員、及び農業改良普及所で白ネギの育苗ほ場及び定植ほ場を巡回しました。

白ネギは、夏秋ピーマンの補完品目として令和6年から栽培を開始しています。

農業改良普及所は今年取り組む品種に関する実証試験について説明し、生産者と打ち合わせを行いました。

今後は、定期的なほ場巡回指導とともに、実証ほの調査と結果取りまとめを行い、安定的な生産につながるよう支援します。

夏秋ピーマンの病害虫対策の理解を深めよう ～夏秋ピーマン病害虫講習会～



講習会の様子

5月14日、JA高知県四万十支所で夏秋ピーマン部会が農薬安全使用及び病害虫防除の講習会を開催し、農家9戸が参加しました。

農業改良普及所は、一作を通じて問題となる病害虫の被害と対策、農薬を使用する上での注意事項について説明しました。

生産者からは、「病害虫対策の知識を再確認できて良かった」、「農薬事故に気をつけて栽培をしていきたい」等の声があり、改めて栽培に係る基本的な事項が見直されました。

農業改良普及所は、今後もJAと協力して夏秋ピーマン部会の栽培を支援します。

決算や栽培のデータを経営に活かそう！ ～ミョウガ農家の経営分析説明会～



面談の様子

5月15日、16日、JA高知県四万十支所興津出張所でミョウガ農家25戸に対して、JAと協力して経営分析説明会を実施しました。

農業改良普及所はJAと共に、農家ごとに3年間の決算データを基に経営収支や勘定科目別のお金の動きなどを確認し、栽培・経営の課題整理や改善に向けた助言を行いました。

参加者は、「動力光熱費が平均に比べて高いので、抑えるために資材を保温効果の高い物へ変えたい」「天敵を導入したので農薬代は増えたが、その分収量は維持できた」など、自身の経営を見直しました。

今後、ニラ農家等に対しても説明会を開催し、農家の経営改善を支援します。

育苗現地検討会 ～JA高知県四万十エコ栽培米生産部会～



現地検討会の様子

5月19日、JA高知県四万十エコ栽培米生産部会が育苗現地検討会を開催し、生産者10人が参加しました。

農業改良普及所は、苗の生育状況、病虫害の発生状況、田植時期、田植後の水田管理など幅広い情報提供を行いました。

生産者からは「あと何日で植えられそうか」などの質問があり、苗の生育状況を観察しながら活発な意見交換が行われました。

農業改良普及所は、今後もJAと連携して良質米の安定生産を支援します。